

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年2月6日（水）

2 確認箇所

G4北タンクエリア、G5タンクエリア

1号機原子炉建屋（1・2号機開閉所前から確認）

3 確認項目

- (1) G4北・G5タンクエリアのフランジ型タンクに貯留されているALPS処理水移送時の漏えい防止対策等の状況（その2）
- (2) 1号機原子炉建屋屋根鉄骨分断作業の状況

4 確認結果の概要

- (1) G4北・G5タンクエリアのフランジ型タンクに貯留されているALPS処理水移送時の漏えい防止対策等の状況について

G4北及びG5タンクエリアのフランジ型タンクの解体準備として、貯留している多核種除去設備（ALPS）処理水を仮設ポンプ、仮設配管（耐圧ホース）及び既設のポリエチレン管（PE管）を使用して、B及びG6タンクエリアの溶接型タンクへ移送する作業が行われている。

前回（平成31年1月9日）は、G4北タンクエリアの移送状況を確認したが、今回は、1月中旬に移送が開始されたG5タンクエリアの移送状況を確認した。

- ・G4北タンクエリアと同様に、以下の漏えい防止対策及び漏えい拡大対策が講じられていた。

耐圧ホースの二重化（写真1-1）

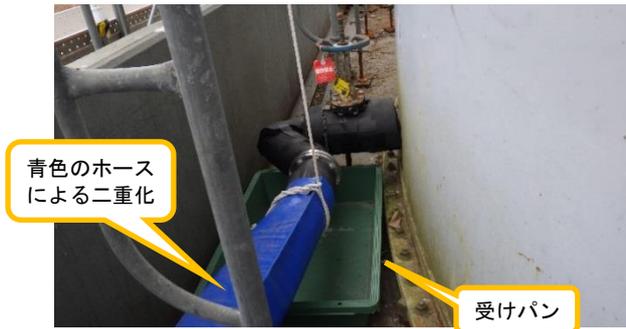
耐圧ホースと既設配管接続箇所への受けパンの設置（写真1-1）

耐圧ホースカムロック式継手部抜け防止（脱着レバーの結束バンドによる固縛）（写真1-2）

耐圧ホース継手部への受けパン及び漏えい検知器の設置

（写真1-2）

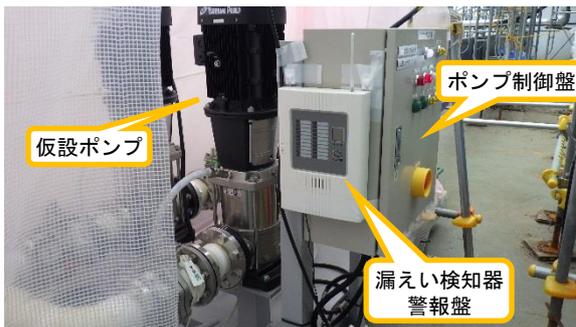
- ・仮設のポンプユニット近傍には作業員が常駐し、ポンプユニット、周辺の配管及び漏えい検知器警報盤（写真2）の状況を監視していた。



(写真1-1)



(写真1-2)



(写真2)

(2) 1号機原子炉建屋屋根鉄骨分断作業の状況について

1号機原子炉建屋オペレーティングフロアにおける屋根鉄骨の分断作業が本日(2月6日)から開始されたことから、1・2号機開閉所前から作業の状況を確認した。(写真3)



(写真3)

ワイヤー切断装置の吊り上げ状況

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。